



2023年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月13日

上場会社名 ダイト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4577 URL <https://www.daitonet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大津賀 保信
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 埜村 益夫 TEL 076-421-5665
 四半期報告書提出予定日 2022年10月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第1四半期の連結業績（2022年6月1日～2022年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第1四半期	12,041	2.5	1,501	△36.4	1,475	△39.0	946	△48.2
2022年5月期第1四半期	11,746	—	2,360	21.2	2,419	23.1	1,825	38.1

(注) 包括利益 2023年5月期第1四半期 1,238百万円 (△29.0%) 2022年5月期第1四半期 1,745百万円 (41.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第1四半期	65.71	—
2022年5月期第1四半期	133.09	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年5月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、売上高は対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第1四半期	69,422	48,714	69.6
2022年5月期	64,939	47,674	72.8

(参考) 自己資本 2023年5月期第1四半期 48,344百万円 2022年5月期 47,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2023年5月期	—	—	—	—	—
2023年5月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	1.2	4,500	△31.3	4,600	△31.6	3,200	△31.5	222.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期1Q	14,416,764株	2022年5月期	14,293,764株
② 期末自己株式数	2023年5月期1Q	5,637株	2022年5月期	5,607株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期1Q	14,396,704株	2022年5月期1Q	13,713,541株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く中、ウクライナ情勢の緊迫化や急速な円安の進行によるエネルギー資源や原材料価格の上昇などの影響が懸念され、先行きが不透明な状況が続いております。

医薬品業界におきましては、国のジェネリック医薬品使用促進策が進められ、「経済財政運営と改革の基本方針2021」においてジェネリック医薬品の品質及び安定供給の信頼性の確保、並びに使用促進を行う方針が示されております。一方で、2021年度から2年に1度の薬価改定に加え、中間年においても改定を行う毎年薬価改定が実施され、医薬品業界の事業環境は厳しいものとなっており、当社としても一層の経営効率化への努力が求められております。

昨今の医薬品における品質に係る問題により、医薬品業界の置かれる環境は厳しい状況が続いておりますが、当社では日々の生産における製造管理・品質管理を徹底するとともに、見直すべき点があれば積極的に改善を進め、より一層の製造管理及び品質管理の強化に取り組んでおります。

このような状況のもと、当社グループは生産基盤の充実を図りながら積極的な営業活動を展開しており、当社は新たな製剤工場である第十製剤棟を2022年9月に着工し、2023年11月に竣工を予定しております。

売上高の販売品目ごとの業績は次のとおりであります。

原薬では、一部既存品目の販売減少及び市場における競争激化等により厳しい状況で推移し、消炎鎮痛剤原薬、抗血小板剤原薬等の一部ジェネリック医薬品向け原薬の販売は堅調に推移したものの、売上高は4,535百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

製剤では、自社開発ジェネリック医薬品の販売増加、医療用医薬品における新規の新薬や長期収載品の製造受託の販売増加があり好調に推移し、売上高は7,445百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

健康食品他につきましては、市場における競争激化等により、厳しい状況で推移し、売上高は60百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症の流行による当第1四半期連結累計期間への影響は軽微でありました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は12,041百万円（前年同期比2.5%増）となりました。売上高の増加に伴う利益の増加があったものの、主に円安を要因とした原材料価格の上昇による原材料費の増加、減価償却費及び研究開発費の増加等により営業利益は1,501百万円（前年同期比36.4%減）、経常利益1,475百万円（前年同期比39.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益946百万円（前年同期比48.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より4,482百万円増加し、69,422百万円となりました。これは主に、商品及び製品の減少392百万円などがあった一方で、現金及び預金の増加1,000百万円、受取手形及び売掛金の増加1,126百万円、原材料及び貯蔵品の増加900百万円、有形固定資産の増加1,290百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末より3,441百万円増加し、20,707百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少1,071百万円があった一方で、支払手形及び買掛金の増加1,036百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加474百万円、電子記録債務の増加481百万円、長期借入金の増加2,175百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より1,040百万円増加し、48,714百万円となりました。これは主に、資本金の増加154百万円、資本剰余金の増加154百万円、利益剰余金の増加445百万円、その他有価証券評価差額金の増加210百万円などがあったことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度より3.2ポイント減少し、69.6%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期（2022年6月1日～2023年5月31日）の通期連結業績予想につきましては、2022年7月14日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,381	5,382
受取手形及び売掛金	10,585	11,712
電子記録債権	5,525	5,875
商品及び製品	4,875	4,483
仕掛品	5,459	5,666
原材料及び貯蔵品	6,486	7,387
その他	600	637
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	37,909	41,139
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,145	12,072
機械装置及び運搬具(純額)	7,715	7,269
その他(純額)	3,255	5,064
有形固定資産合計	23,116	24,407
無形固定資産		
その他	386	387
無形固定資産合計	386	387
投資その他の資産		
投資有価証券	2,752	2,966
その他	785	532
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	3,528	3,488
固定資産合計	27,030	28,283
資産合計	64,939	69,422
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,493	5,529
電子記録債務	3,371	3,853
1年内返済予定の長期借入金	1,189	1,663
未払法人税等	1,402	330
引当金	51	341
その他	3,561	3,627
流動負債合計	14,069	15,345
固定負債		
長期借入金	2,247	4,423
退職給付に係る負債	755	741
その他	193	197
固定負債合計	3,196	5,362
負債合計	17,265	20,707

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,031	7,186
資本剰余金	6,917	7,072
利益剰余金	32,338	32,784
自己株式	△13	△14
株主資本合計	46,273	47,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	877	1,088
為替換算調整勘定	306	366
退職給付に係る調整累計額	△159	△139
その他の包括利益累計額合計	1,024	1,314
新株予約権	7	-
非支配株主持分	367	370
純資産合計	47,674	48,714
負債純資産合計	64,939	69,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
売上高	11,746	12,041
売上原価	8,470	9,263
売上総利益	3,276	2,777
販売費及び一般管理費	916	1,275
営業利益	2,360	1,501
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	34	30
受取保険金	29	-
その他	9	6
営業外収益合計	73	36
営業外費用		
支払利息	2	3
為替差損	4	53
支払手数料	5	4
その他	1	0
営業外費用合計	13	62
経常利益	2,419	1,475
特別利益		
投資有価証券売却益	246	-
特別利益合計	246	-
特別損失		
固定資産除却損	1	4
火災損失	22	-
特別損失合計	24	4
税金等調整前四半期純利益	2,642	1,470
法人税等	824	544
四半期純利益	1,817	926
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△19
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,825	946

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
四半期純利益	1,817	926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91	210
為替換算調整勘定	17	82
退職給付に係る調整額	1	19
その他の包括利益合計	△71	312
四半期包括利益	1,745	1,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,747	1,235
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、行使価額修正条項付新株予約権付社債券等に係る新株予約権の行使に伴い、資本金154百万円、資本剰余金154百万円がそれぞれ増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金7,186百万円及び資本剰余金7,072百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。